

事務事業名		佐野市訪米団派遣事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	政策調整係	担当課長名	大木 聡	
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	4 相互理解の環境づくりの推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1332	一般	2	1	7	佐野市訪米団派遣事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度のみ		事業期間		H26年度～ H26年度		根拠法令 条例等				
							実施方法		一部委託		
							事業分類		その他市民に対する事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
アメリカ合衆国ペンシルバニア州ランカスター市との姉妹都市締結20周年、佐野市の市制10周年を機に、市長を団長とする訪米団をランカスター市に派遣し、相互理解と友好親善の推進を図る。	平成26年11月3日から11月8日までのあいだ、市長を団長とする23名の訪問団が、ランカスター市を訪問し、現地の市役所等の表敬訪問を行った。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	派遣人数	人	0	23	0	0	0
	派遣日数	日	0	6	0	0	0

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

訪米団参加者	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	訪米団参加者	人	0	23	0	0	0

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

①ランカスター市との友好交流を推進する。 ②市内で日本人と外国人が相互に理解しあって暮らせる。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	外国人との交流をする市民の割合	%	8.5	10.5	11	11.5	12

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市内で日本人と外国人が相互に理解し合っ て暮らせる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	外国人との交流をする市民の割合	%	8.5	10.5	11	11.5	12

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		2,304				
	事業費計(A)	千円	0	2,304	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					旅費	967		
					委託料	1,337		
人件費	千円	0	236	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	2,540	0	0	0		

事務事業名	佐野市訪米団派遣事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	政策調整係
-------	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成4年度、自治省から国際交流のまち推進プロジェクト実施市町村の指定を受け、本市における指針となる「佐野市国際交流のまち推進計画」を策定し、平成6年度にはランカスター市と姉妹都市提携をした。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	姉妹都市締結の平成6年度に訪問してから、20年経過し、節目の年である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成26年度が姉妹都市締結20周年となる

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事務事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	訪米団をランカスターに派遣することにより、本市とランカスター市との友好交流の促進を図ることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	本市とランカスター市は姉妹都市提携をしていることから、市が行なうことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	事業内容は、訪米団派遣により、ランカスター市との友好交流を推進するため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	民間主導の交流が促進されれば、成果向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、事務局職員の航空運賃・宿泊費等であり削減することはできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	受益者は訪米団参加者であり、航空運賃・宿泊費等は自己負担で参加しているため受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	民間主導の交流が確立されれば、目的達成となり事業終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			